

# 「嫌われる覚悟」こそ政治家の本質



10/12 本厚木駅北口にて金子候補を応援

参議院神奈川県選出補欠選挙結果 (10/25 投開票)

	金子洋一		角田宏子	岡田政彦
	得票数	得票率		
厚木市	21,494	52.4%	15,384	3,727
伊勢原市	10,303	49.3%	8,553	1,806
愛川町	3,360	45.8%	3,202	676
清川村	366	40.2%	471	64
旧津久井郡	8,426	50.7%	6,571	1,440
相模原南部(推計)	10,791	53.0%	7,208	2,117
<b>16区合計</b>	<b>54,740</b>	<b>51.1%</b>	<b>41,389</b>	<b>9,830</b>
神奈川県合計	1,010,175	49.1%	792,634	230,143

※ 相模原南部得票数は次のとおり算出  
相模原旧市得票数×(南部投票者数/相模原旧市総投票者数)

## 十六区の得票率は県平均以上

一〇月二五日投票の参議院補欠選挙では、民主党公認の金子洋一氏が約百一萬票を獲得し、静岡県補選と合わせ民主党候補が2勝いたしました。神奈川県十六区地域での金子候補の得票率(五二・一%)が神奈川県全体の得票率(四九・一%)を上回ったこと、また、これまで保守が強かった伊勢原市、愛川町、旧津久井郡でも、金子候補の得票数が自民候補を上回ったことから、私の責任は果たせたと感じています。

## 政治家が「事業仕分け」すべきか

鳩山政権の目玉商品とも言うべき「行政刷新会議」では、「事業仕分け」という手法でムダ使いをなくそうとしています。事業仕分けとは、オープンな会議の場で、各役所が行っている個々の事業を「不要」「自治体に移すべき」「民間でやるべき」、「国に残すが縮小すべき」といった形で、「仕分け人」が仕分けしていくものです。

私は、政治家が一つ一つ事業仕分けするよりも、各省の削減目標額を政治主導で決定し、「あなたの省は一兆円削って下さい。但し、天下り団体向け予算をできるだけ含めること。いい加減な案を持ってきたら、責任を取っていただきます。」といった形で削減案を官僚に作るべきと考えます。出てきた案を民間人たるプロの仕分け人に仕分けしてもらい、最後に政治家が最終判断をして、「よっしゃ。これでいく」というのが政治家と官僚のあるべき姿だと考えます。

## 嫌われる覚悟がムダをなくす

私は、仙谷由人行政刷新担当大臣から「行政刷新会議を手伝ってくれないか」と言われた際、上記のような事業仕分けについての考え方を申し上げました。自らが「仕分け人」になるのは本意ではありませんでしたが、協力させて頂くと答えたのは、「ムダ全廃」を唱えて皆様に当選させて頂いた以上、その真ん中の仕事から逃げたくなかったからです。つまり、仕分け人として特定の前算を削減すると利害関係者には確実に嫌われるでしょうが、「一部の方に嫌われることを恐れない政治家でありたい」という、選挙中から訴え続けた私の政治スタンスを貫くべきだと考えたからです。

## 行政改革のプロを目指す

結局、私を含む一年生議員十四名は事業仕分けから外されることになりました。残った七人の「仕分け人」はどの方も「嫌われる覚悟」のある政治家ばかりです。期待したいと思います。(裏面に続く)

## 内閣委員会で天下り禁止に取組む

私は、「ムダ全廃」や「天下り禁止」といった行政改革を担当する内閣委員会の委員を拝命いたしました。内閣委員会というのは分かりにくいかもしれませんが、行政改革全般、NPO育成、男女共同参画、障がい者政策といった内閣全体にまたがる政策を扱います。特に重要となるのは、来年一月から始まる次期通常国会に提出される見込みの公務員制度改革法案です。天下り禁止を厳しい形で盛り込み、「骨抜き」にならないよう今から監視していく必要があります。「ムダ全廃」の実現には一部有権者に嫌われる覚悟が求められますが、「天下り禁止」実現には官僚に嫌われる覚悟が求められます。私は逃げません。

## NPOへの寄付を免税に！

NPO支援については既に動き始めています。現在、NPOに対する寄付の一部を免税にする制度があります。しかし、その対象となるのは日本全国にある約三万八千のNPOのうちたった一〇七法人に過ぎず、他の先進国と比べ話になりません。私は、一〇月二十九日、「内閣府政策会議」という与党議員が役所に対し意見を述べる場に出席し、免税対象を抜本的に増やすよう具体的な提案をさせて頂きました。

## 防災に対する「意見を下さい」

もう一つ災害特別委員会では、五人からなる理事の一人に選ばれました。大災害があつた場合に現地に飛び、政府の災害対応が適切かどうか現地調査を行い、不適切な点を改めさせる仕事です。また、防災全般が担当となりますので、皆様が防災について疑問に思つた点などございましたら、是非下記連絡先までご質問、ご提案を頂ければ幸いです。防災に限らずどんな分野でも結構です。生活目線の政治家であり続けるためにも、皆様からの具体的なご意見を是非頂ければと存じます。



10/29 内閣府政策会議

## 事務所のご案内

<民主党神奈川県第16区総支部>

<厚木事務所>

〒243-0017 厚木市栄町 2-4-28-212

TEL046-296-2411

FAX046-296-4811

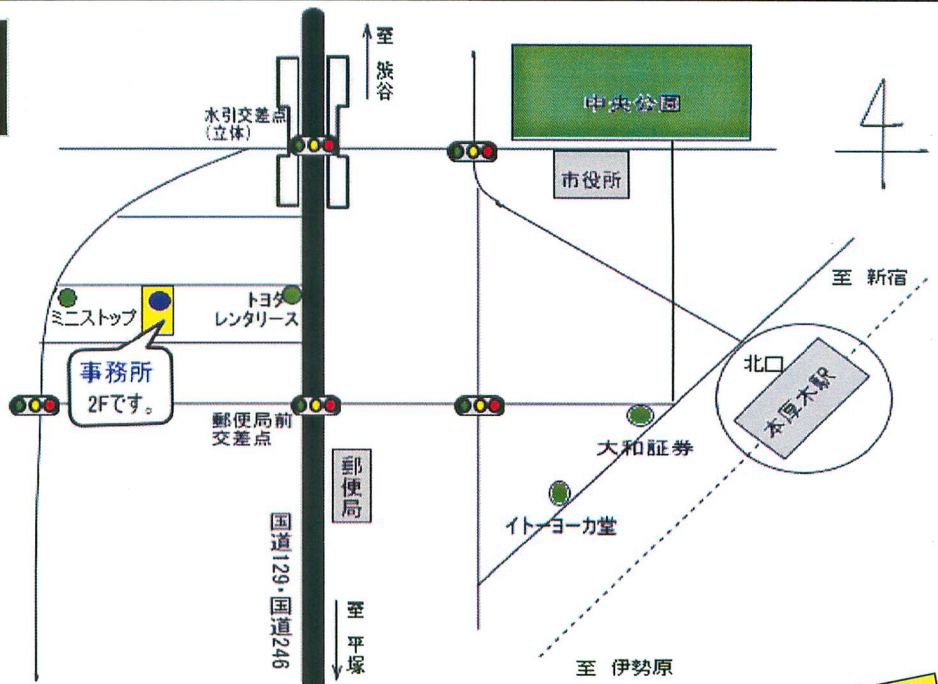
<国会事務所>

〒100-8982 千代田区永田町 2-1-2

第二議員会館 532 号室

TEL03-3508-7092

FAX03-3508-3962



www.jitsugen.jp でごとう祐一の最新情報を発信中  
メールマガジン「従流志不変」の購読申込みもHPから

**ムダ全廃**